

第72回『社会を明るくする運動』県推進委員会

作文コンテスト表彰式



第72回「社会を明るくする運動」の作文コンテスト表彰式が昨年12月26日、合同庁舎5階共用会議室にて、感染防止対策を取りながら、少人数での参加のみで開催されました。応募総数は県下で六千九百五十六点、これはひとえに、各学校の先生方のご指導と、学校担当保護司をはじめ近隣保護司の皆さまがコロナ禍のなか、学校を訪問し、ご激励いただいた努力の賜物と感謝いたします。いささか緊張した空気のなか、ご家族に見守られながらの表彰式となりました。記念写真では、マスクを外し、緊張もほぐれ、にこやかな撮影となりました。



令和5年3月15日発行

サポセン和歌山

更生保護サポセンセンター和歌山
〒640-8157 和歌山市八幡丁4 八幡丁館3階

第53号

発行責任者：和歌山保護司会会長
編集：企画調整保護司
TEL：073-460-9298
FAX：073-425-1301
Email：saposen_w@ares.eonet.ne.jp
H.P：http://wahokai.sakura.ne.jp/saposen/

受賞おめでとうございます

小学生の部 最優秀賞
丸山 清良さん
和歌山大学教育学部附属小学校 4年生

中学生の部 最優秀賞
稲葉 すみれさん
和歌山県立桐蔭中学校 3年生



小学生の部 3年連続受賞されました





しそまる全開！金曜日

1月13日、WBS 和歌山放送ラジオに出演しました～

「しそまるの全開！金曜日」に出演

1月13日、「第72回社会を明るくする運動」作文コンテストに於いて、県推進委員会の最優秀賞作品小学生の部と中学生の部、それぞれご本人の朗読によりラジオで放送されました。

当日、和歌山県保護司会連合会の得津会長代理と中村事務局長が出演し、桂枝曾丸さんの軽妙な話術の質問に答える形で、得津会長代理が、「社会を明るくする運動」について昭和24年「犯罪者予防更生法」が施行された時、東京銀座で荒れた世の中を直そうと立ち上げた「銀座フェア」が全国に広がったこと、そして、次世代を担う子供さん達に「社会を明るくする運動」について考えてもらう作文コンテストが30回を迎えたことなど話されました。作文についての感想は、普段の生活で出会った人との関わりの中でしっかりと考えて書いてくれる事など話させて頂きました。

そして、今年もまた、作文コンテストに沢山応募して頂きますようお願いして出演は終了しました。

第3期地域別定例研修

テーマ:犯罪被害者等施策について

導入に至る経緯、更生保護における犯罪被害者等施策の4つの内容について。また和歌山保護観察所では、被害者担当保護司2名が交代で勤務されており、犯罪被害者に対しての相談、問い合わせに対応している。

東



担当した事例を発表する保護司



西



南



北



四支部合同研修会

令和5年2月16日

河北コミュニティセンター

参加者 89名



今年度の四支部合同研修会を終えて
コロナ禍のため、延期延期となっていた四支部合同研修会が2月16日実施されました。

南支部武内保護司や北支部佐谷保護司のお話を聞き、私にも十数年間の保護司生活で色々難しい対象者がいた事を思いだし、あれで良かったのか、また悪かったのかな〜と反省させられる話でした。また福地統括観察官の講評を伺い、あの時、私は寄り添いすぎていたのかな？と考えさせられる思いでした。次からは寄り添ったり、時には突き放す事も必要と反省させられるお話でした。

今後も機会があれば皆さんの体験発表をまた聞ければ、と思う有意義な研修会でした。

研修部会長 東支部 江川 友章

南支部 武内 優子保護司

テーマ:いろいろな対象者とのかかわりの中で

保護司を拝命して、初めて担当した少年は子どもの同級生の弟でした。その後、数人の少年を担当しましたが、殆んど3~6ヶ月で解除になり、その後、担当した子どもたちと交流することはありません。



ある時「おかげさまで二十歳を迎えることができました。今は、専門学校で頑張っています。」と紅白のお饅頭を持ってお母さんが訪ねてきたことがありました。更生して目標に向かって成長していること、三年前のことなのに覚えていてくれたことに心が温かくなりました。

しかし、みんなが更生して巣立ったわけでもありません。母親の過保護・過干渉に耐え切れず、大阪にいる別れた父親のところに行って以後、彼の消息は不明です。環境調整をしている青年は、16歳で面接が始まり、数年後には再犯で刑務所に入所しています。十年の付き合いになりますがまだまだ続きそうです。

「見ているよ きみのいいところ わるいところ」

「立ち直る 勇気ささえる 地域の輪」

「更生へ 支える社会と 応えるあなた」

【社明標語】

北支部 佐谷 美津子保護司

テーマ:詐欺を繰り返す対象者

四支部体験発表会に於いて私自身ずっと失敗事例だと反省していたケースを聞いていただきました。

詐欺を繰り返したり嘘で塗り固めたような話にも寄り添う事が大切

だと相手の話を信じ、良き相談相手になれるようにと心がけていました。しかし私の対応が詐欺を助長させていたのではないかと苦しい気持ちになりました。

その当時の所長さんに相談させていただいた時、詐欺をする人は依存心が強い人が多いように思います。時には突き放すことも大切だと教えていただきました。私は寄り添う事に重きを置きケースにより対応を変える必要がある事に気付きませんでした。しかし発表後、福地統括保護観察官から失敗ではありません。相手に寄り添ったから彼は救われたのだと思います。もし手を差しのべていなければ大変な事になっていたかもしれませんと、おっしゃっていただきました。

今回の発表により私自身失敗だと思っていた気持ちがすごく楽になりました。



西支部県外研修

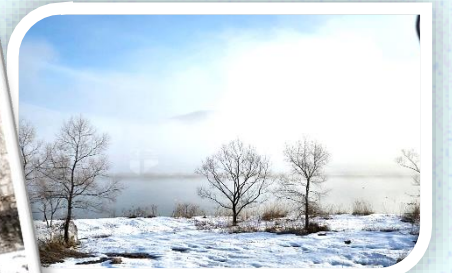


何とも言えないワクワク感！三年ぶりの研修旅行。
期待は裏切られることなく(笑)有意義な二日間でした。
天然記念物の玄武洞では、その節理の美しさと迫力に
魅了され、旅館の優美なポスピタリティに浸りながらゆつ
たりと豪華なお食事とお酒、温泉を楽しみながら語らい、
その空間を満喫しました。

そして今回西本願寺書院でお話を聞きながら拝観さ
せていただいたこともとても貴重な体験となりました。

今回の視察場所西本願寺百光荘でのご講義と
ディスカッションでは、あまり表に出ていない性
被害などの現実も 赤裸々に話
し合い女性専用だからこそその課
題や施設を出たあとの対応など
も勉強になりました。

今回得た知識から保護司とし
て何が出来るのか、改めて考え
ていけたらと思います。何事におい
ても知識豊富な方々に囲まれて私自身勉強に
なることばかりか居心地の良さが私のワクワ
クを引き出してくれていると改めて感じました。
皆様有難うございます。来年はどこかなあ♪



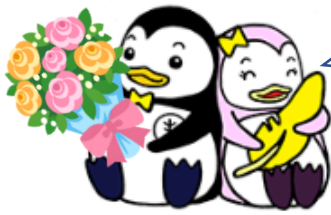
検察庁座談会

1月11日、合同庁舎5階共用会議室に
て、初めての検察庁と和歌山保護司会の合
同座談会が開催されました。
検察官の職務内容は、保護司の私たち
には理解できているようで、案外知らないこ
とが多くあり、また逆に保護司の活動内容
も検察官の方たちには理解されていないこ
ともあったのではと思います。東西南北の
各支部長の更生保護活動における色々な話
には関心を持って聞いていただけたことが
すごく印象に残りました。
こうした座談会を、ぜひ今後も開催して
いただければと思います。



退任保護司

令和4年度に退任されました8名の保護司の皆さま、委嘱期間中は大変お世話になりました。



ありがとう
ございました!!

氏名	地区	委嘱年月日	従事年数
北川 徳治	東支部	平成22年 11月9日	12年
中谷 武也	東支部	平成12年 11月9日	22年
中尾 眞智子	東支部	平成27年 11月16日	7年
三角 和生	西支部	令和 2年 11月9日	2年
宮本 庄悟	南支部	平成24年 11月9日	10年
藤井 保夫	北支部	平成 4年 11月9日	30年
坂本 安廣	北支部	平成30年 11月9日	4年
下田 佐喜子	北支部	平成30年 11月9日	4年

新任保護司

令和4年11月9日付けで6名の保護司が委嘱されました。これからよろしくお願いたします。



<p>私は犯罪被害者支援事業に就いていません。再犯や非行を防止することは、被害者支援につながると考え、更生保護活動に努めます。</p>	 川崎 力夫 北支部 犯罪予防部	<p>人に寄り添う。相手の立場になり考え接する。微力ではありますが私なりに頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。</p>	 中本 眞由子 西支部 研修部	<p>保護司となり身が引き締まる思いでございます。自分の出来る事から取り組んでいきますので、御指導のほど、宜しくお願いします。</p>	 田端 宏徳 東支部 犯罪予防部
<p>私自身の人生の経験を活かし、対象者に寄り添いながら、関係者との連携を図り、対象者と共に成長できればと思っています。</p>	 金田 博行 北支部 協力組織部	<p>仙溪学園で九年間、児相一保で六年間に渡り非行少年の対応してきた実績を少年事案に保護司として活かしたいと考えています。</p>	 山本 哲生 西支部 犯罪予防部	<p>法学部卒業後、大阪保護観察所に勤務していた事もあり又、様々な経験を活かし地域社会のお役に立てればと努めてまいります。</p>	 山口 智世 東支部 犯罪予防部

新任さんいらっしゃ〜い

企画調整保護司と、任命3〜4年後の保護司さんとの座談会「新任さんいらっしゃ〜い」は今年度、4回開催しました。処遇の疑問点や保護司会活動への提案等様々な話題が出ました。

- ・来訪時間が守れない対象者→アラームのアプリを取らせたら守れるようになった
- ・対象者の嘘→保護司は騙されてナンボの世界(対象者は「こうありがたい」という思いを言っているのかも)
- ・期間が長い対象者との話題→趣味の話で終わる日あっても良いのと違うかな(対象者の人柄が見えるかも)
- ・出張先の宿泊先が決まらずに出張する対象者
→観察官と相談
- ・定例研修5時以降に出来ないか、等々...

又、先輩保護司の印象に残る対象者の話には驚いたり、笑ったり。「それよ〜」「そうなんよ〜」と保護司あるある満載でした。この座談会を通じて同期の保護司さん同士絆を深めて頂くこと、所属支部の企画調整保護司とより親しく、楽しく保護司活動を続けさせていただけることを願っております。





各支部定例総会及び
第1期地域別定例研修

東支部	令和5年4月28日(金)
西支部	令和5年4月26日(水)
南支部	令和5年4月25日(火)
北支部	令和5年4月20日(木)

- ・詳細は各支部の案内等でご確認ください
- ・所属支部の研修日に都合がつかず出席できない方は、事前に支部長に申し出て他支部の地域別研修に参加をお願いします

令和5年度
和歌山保護司会定例総会

日程 令和5年5月12日(金)
時間 13時半～
場所 中央コミュニティセンター



サポートセンター和歌山
俳句教室作品

送しまに押せし落款冴え返る
コンビニのおでんの湯気が客を呼ぶ
鏡餅開きてまずのおぜんざい
初詣両手に賜る龍吐水
福笑ひ鼻の上には口があり
着ぶくれて鉄打つ力鈍りがち
春近し砂浜掃除の小学生
地藏尊へ菓子をたずさえ初詣
門番となりし四つの雪だるま
初詣ベイベイ私ひなる御籤

選者 「森 幸子」

森 幸子
乾 三千代
大竹 有美
乙井 八重子
小西 健之
坂本 記美子
坂本 漸
杉谷 睦夫
得津 壽美代
中村 咲子



新任・OB・OGの皆さん
日時：毎月第3水曜日 10時～
対象：更生保護関係者

参加者随時募集中!!

サポートセンターを面接場所
としてご利用ください

更生保護サポートセンター和歌山を
対象者との面接に利用される方は、
利用希望の日時をサポートセンター
に連絡して、予約をお願いします。
ご利用時間は、平日10時から
15時30分となります。



「よい青少年の褒賞」
式典に小川会長 出席

令和5年2月26日市役所
にて開催。小川史乘会長が
保護司会を代表して、受賞
者を祝った。

編集後記

コロナ、コロナで令和4年度も終わろうと
しています。
思うように行事も推し進められず、一日も
早く治まって欲しいと願うことばかりです。
「サポセン和歌山」の編集に当たっては、
企画調整保護司全員で、年季が入った目をこ
らしての、間違い探しと手直しをワイワイ・
ガヤガヤと、にぎやかにさせていただけまし
た。その結果が皆さんの手元に届けられるこ
とを嬉しく思いながら!!

M・M

